

平成23年度公共用水域の水質測定結果について

平成24年 9月12日

環境政策課

愛媛県環境審議会の答申を受けて策定した「平成23年度公共用水域の水質測定計画」に基づき調査した結果は、次のとおりでした。

- 1 調査期間 平成23年 4月～平成24年 3月
- 2 実施機関 愛媛県、松山市、国土交通省、独立行政法人水資源機構
- 3 測定項目及び調査地点

区分		生活環境項目	健康項目	ダイオキシン類	要監視項目	その他
項目数		10	27	1	26	16
地点数	河川	73	38	7	24	
	湖沼	8	6	2	1	
	海域	130	23	4	5	

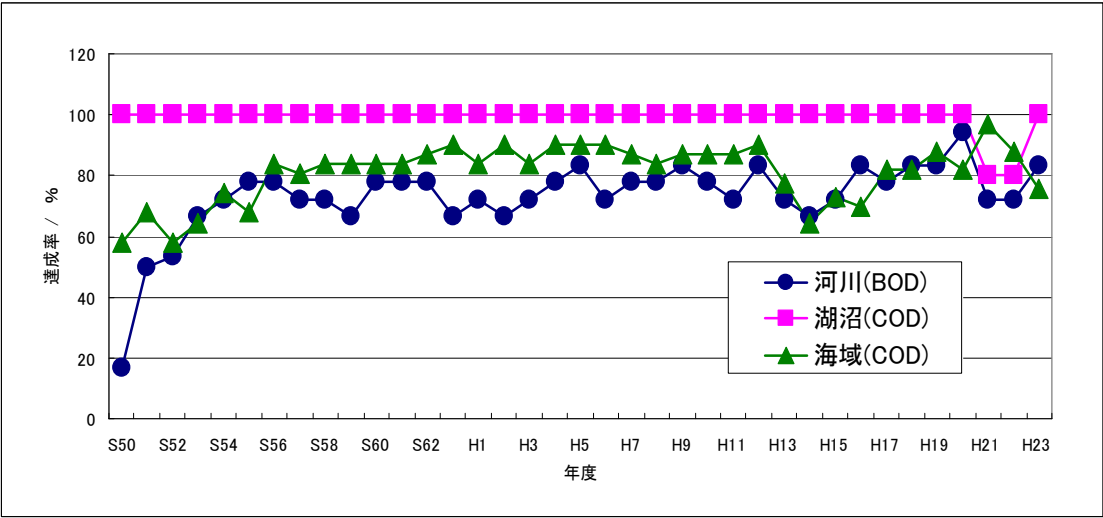
4 調査結果の概要等

(1) 生活環境項目

ア 環境基準点における環境基準の達成状況は、河川(BOD)が83%、湖沼(COD)が100%、海域(COD)が76%であり、全体では80%であった。

BOD又はCODの環境基準の達成状況

区分	平成23年度		(参考) 平成22年度	
	達成率	達成水域数／調査水域数	達成率	達成水域数／調査水域数
河川	83%	15/18	72%	13/18
湖沼	100%	5 / 5	80%	4 / 5
海域	76%	25/33	88%	29/33
合計	80%	45/56	82%	46/56



参考：環境基準達成率の経年変化 (BOD又はCOD)

○未達成水域の状況等

区分等		23年度	22年度
河川	AA類型	石手川(乙)	石手川(乙)、中山川水域(甲)
	A類型	重信川(甲)、肱川水域(甲)	重信川(甲)、肱川水域(甲) 中山川水域(乙)
湖沼	A類型	—	新宮ダム貯水池
海域	A類型	伊予三島・土居海域、新居浜 海域(丙)、西条海域(丙)、 東予海域(丙)、宇和海一般、 燧灘東部	東予海域(丙)、宇和海一般、 燧灘東部
	B類型	三島・川之江地先海域(3)、三 島・川之江地先海域(4)	三島川之江地先海域(4)

イ 全窒素及び全リンの環境基準の達成状況(海域のみ)

	23年度	22年度
全窒素	100%(5水域)	100%(5水域)
全リン	100%(5水域)	100%(5水域)

(2) 健康項目

調査を実施した67地点(河川38地点、湖沼6地点、海域23地点)全てにおいて、環境基準を達成した(平成22年度も達成)。

健康項目の調査結果概要

(単位: mg/L)

項目	調査結果	基準値
カドミウム	<0.001	0.003以下
全アン	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	0.01以下
六価クロム	<0.04	0.05以下
砒素	<0.001~0.008	0.01以下
総水銀	<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	<0.0005	検出されないこと
PCB	<0.0005	検出されないこと
ジクロロetan	<0.002	0.02以下
四塩化炭素	<0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロetan	<0.0004	0.004以下
1,1-ジクロロethレン	<0.01	0.1以下
シス-1,2-ジクロロethレン	<0.004	0.04以下
1,1,1-トリクロロetan	<0.1	1以下
1,1,2-トリクロロetan	<0.0006	0.006以下
トリクロロethレン	<0.003	0.03以下
テトラクロロethレン	<0.001	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	0.002以下
チウラム	<0.0006	0.006以下
シマジン	<0.0003	0.003以下
チオベンカルブ	<0.002	0.02以下
ベンゼン	<0.001	0.01以下

セレン	<0.002	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	<0.02～2.5	10以下
ふっ素	<0.08～0.71	0.8以下
ほう素	<0.02～0.28	1以下
1,4-ジメチルベンゼン	<0.005～0.005	0.05以下

(3) ダイオキシン類

調査を実施した13地点（河川7地点、湖沼2地点、海域4地点）全てにおいて、環境基準を達成した（平成22年度も達成）。

ダイオキシン類の調査結果概要

（単位：pg-TEQ/ℓ）

（単位：pg-TEQ/g）

区分	水質			底質		
	地点数	調査結果	基準値	地点数	調査結果	基準値
河川	7	0.034～0.27	1以下	6	0.22～2.8	150以下
湖沼	2	0.067～0.081		2	1.5～1.8	
海域	4	0.018～0.045		4	1.6～5.2	

(4) 要監視項目

調査を実施した30地点（河川24地点、湖沼1地点、海域5地点）において、2地点でアンチモンが、1地点でウランが指針値を超過した。

（平成22年度も2地点でアンチモンが、1地点でウランが指針値を超過した。）

要監視項目指針値超過地点の調査結果概要

（単位：mg/ℓ）

区分	超過地点	項目	調査結果 (年平均値)	指針値	要因等
河川	加茂川水域St-7	アンチモン	0.14	0.02	地質由来
	砥部川水域St-2		0.048		
海域	松山海域St-2	ウラン	0.0031	0.002	海水由来

(5) その他項目

内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン物質）については、調査を実施した5地点（河川1地点、海域4地点）全てにおいて、4項目ともに検出されなかった（平成22年度も検出されず）。

内分泌攪乱化学物質の調査結果概要

（単位：μg/ℓ）

区分等	調査地点数	ノルフェノール	4-オクチルフェノール	ビスフェノールA	DDT
河川	1	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
海域	4	N. D.	N. D.	N. D.	N. D.
定量下限値	—	0.1	0.01	0.01	0.05

平成23年度地下水の水質測定結果について

平成24年9月12日

環境政策課

愛媛県環境審議会の答申を受けて作成した「平成23年度地下水の水質測定計画」に基づき調査した結果は、次のとおりでした。

1 調査期間 平成23年4月～平成24年3月

2 実施機関 愛媛県、松山市、国土交通省

3 調査結果の概要等

(1) 継続監視調査

ア 測定項目及び調査地点

調査機関	地点数	環境基準項目	要監視項目
愛媛県	51	4 ^{※1}	—
松山市	13	5 ^{※2}	—
国土交通省	6	14 ^{※3}	5 ^{※4}

※1 砒素、1,1,1-トリクロロエタン、テトラクロロエチレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

※2 1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

※3 ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロパン、ベンゼン、塩化ビニルモノマー、1,4-ジメチルベンゼン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

※4 クロロホルム、1,2-ジクロロプロパン、p-ジクロロベンゼン、トルエン、キシレン

イ 調査結果（基準超過地点）

○ 環境基準項目

調査を実施した70地点において、砒素が1地点、テトラクロロエチレンが1地点、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が23地点で、環境基準を超過した。

（平成22年度は、砒素が1地点、テトラクロロエチレンが1地点、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が24地点超過した。）

・砒素

（単位：mg/L）

調査機関	調査地点	平成23年度	平成22年度	環境基準
県	今治市関前小大下	0.016	0.015	0.01以下

・テトラクロロエチレン

（単位：mg/L）

調査機関	調査地点	平成23年度	平成22年度	環境基準
松山市	松山市生石町	0.020	0.015	0.01以下

・ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

(単位: mg/L)

調査機関	調査地点	原因	調査結果	
			平成23年度	平成22年度
県	西条市丹原町長野	施肥	14	9.4
	今治市大西町山之内	施肥	17	17
	今治市菊間町池原	施肥	11	11
	今治市伯方町叶浦	施肥	13	16
	今治市上浦町盛	施肥	19	18
	今治市上浦町井口	施肥	19	18
	今治市宮窪町友浦	施肥	16	17
	上島町弓削狩尾	施肥	19	27
	上島町生名	施肥	19	19
松山市	松山市山西町	施肥	20	20
	松山市宮野	施肥	17	14
	松山市小浜	施肥	11	11
	松山市宇和間	施肥	13	12
	松山市津和地	施肥	17	12
	松山市上怒和	施肥	21	24
県	伊予市森	施肥、生活排水	15	12
	伊予市双海町上灘	生活排水	20	18
	松前町北黒田	施肥、生活排水	16	16
	砥部町川井	施肥	20	25
	八幡浜市保内町川之石	施肥	13	13
	内子町大瀬	施肥(菜園)	12	21
	伊方町九町	施肥	12	8.2
	伊方町二見	施肥	21	18

※環境基準 10mg/L以下

○ 要監視項目

調査を実施した6地点において、指針値の超過はなかった。

(2) 概況調査

ア 測定項目及び調査地点

調査機関	地点数	環境基準項目	要監視項目
県	30	7※	—
松山市	12	28	24

※ 砒素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン、1,4-ジクロロベンゼン

イ 調査結果(基準超過地点)

調査を実施した42地点において、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が3地点で、環境基準を超過した。

(平成22年度は、環境基準項目、要監視項目ともに基準等を達成した。)

(単位: mg/L)

調査機関	調査地点	測定値	環境基準
県	今治市山口甲	11	10以下
松山市	松山市吉藤4丁目	23	
	松山市上怒和	22	

(3) 汚染井戸周辺地区調査

ア 測定項目及び調査地点

調査は、(2) 概況調査により新たに発見された汚染について、その汚染範囲を確認するために実施。なお、松山市上怒和については、過去の概況調査時に実施済。

調査機関	調査地点 ^{※1}	地点数	環境基準項目
県	今治市山口甲	10	2 ^{※2}
松山市	松山市吉藤4丁目	24	7 ^{※3}

※1 3 (2) イに示す超過地点

※2 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素

※3 1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、トランス-1,2-ジクロロエチレン (4地点)

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (20地点)

イ 調査結果 (基準超過地点)

調査を実施した34地点において、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が8地点で、環境基準を超過した。

(単位: mg/L)

調査機関	調査地点	原因	測定値	環境基準
県	今治市山口甲	施肥	11	10以下
	〃	〃	12	
	〃	〃	12	
松山市	松山市吉藤5丁目	施肥、生活排水	19	
	松山市谷町	〃	27	
	〃	〃	20	
	〃	〃	23	
	〃	〃	25	

(4) ダイオキシン類調査

ア 調査地点

松山市 1地点

イ 調査結果

環境基準を達成した (平成22年度も達成)。